

花の台学童保育ホール

HANANODAI GAKUDOU

このサイトを検索

[ホーム](#)

[入室募集](#)

[お知らせ](#)

[花の台って？](#)

[よくあるご質問](#)

[ホールだより](#)

[花の台コラム](#)

[イベント](#)

[ご支援のお願い](#)

息子は
6年間通った花の台を来月卒業します。
振り返ってみると、あっという間でした。

以上。

。
。。。
。。。。。
。。。。。。。
。。。。。。。。。

って言うくらい、本当に短かったように思います。よく言う、「子どもに関われる時間は短い」と実感。中学生になれば、ちょっとずつ親から離れていくのかなあ～と感慨深い。

思い起こすと3年生くらいまでは泣き虫で、遊びに夢中ですり傷とアザが絶えない毎日。

「今日は楽しかった？何をしたの？」と聞くと「楽しかった」「何をしたか忘れた」と(←男子の8割はこの回答)。「明日とうちゃん休みだけど、学校から家に帰ってくる??」と聞くと「学童行く」と。



子どもにとって何が魅力なのかさっぱり聞き出せないまま。もしかすると6年間通いたい場所って、気合いを入れて通うところでも、仕方なく居るところでもないのかも。父母会の時に花の台便りを見て息子のことが書かれていたりすると嬉しかったり、ああ学童では息子はこんな感じなんだなーと思ったり。（←ここで初めて何をしてきたか知ることが多々有り）



学童はやはり「親の都合」で通わせるところ。

「学校から友だちと寄り道しながら帰り、ランドセルを玄関に放り投げ、自転車に乗って遊びに行く」という選択をさせないための場所。

最初の頃は子どもの頃の自分と違う生活を強いるのが心苦しかった。まあ今となって子どもが「楽しみで通う場所」なので、こんなことも考えなくなったけど。

平日は仕事が忙しく寝顔しか見られないこともある中、なるべく学童のイベントには参加して「イトコ」見せようとがんばったり(?)の親の6年間。

"男子三日会わざれば刮目せよ"。

この間おろしたズボンがいつの間にか短くなったり、少し低くなった声を聴くと成長しているんだなとシミジミ。我が子ながら6年で自慢の息子に育ったと親馬鹿全開。親として6年で成長したのは額とベルトの穴だけではなく一緒に成長出来たかな(?)



息子は 6年間通った花の台を来月卒室します。

指導員の皆さま、父母の皆さま、息子と一緒に過ごした仲間への謝辞は卒室・進級お祝い会までとっておきます。

6年 たいへい/父

花の台学童保育ホールは川崎市宮前区にある自主共同の学童です。
〒216-0003 神奈川県川崎市宮前区有馬2丁目9-4
TEL:044-877-5304 / e-mail: info.hananodai@rhythm.ocn.ne.jp
Copyright(C)2014 Hananodai-Gakudou All Rights Reserved.

[不正行為を報告](#) | Powered By [Google サイト](#)